

令和2年度 第1回 学校運営協議会 議事録

下野市立薬師寺小学校

日時 4月28日(火) 14:00~15:00 薬師寺小学校 MR室
参加者 学校運営協議会委員 谷萩昌道様 坂本栄一様 蓬田 優様
館野法子様 高山信夫様 菊池久美子様
校長 海老原忠
地域学校協働活動推進員 上野 保久様
学校側参加者 教頭 人見佳代子 教務主任 金久保貴子

1 自己紹介

2 委嘱状の交付

3 学校運営協議会についての説明

(下野市学校運営協議会運営マニュアルより説明 教頭)

4 会長・副会長の選出

○会長 高山 信夫様 ○副会長 小林包幸様

5 学校運営について (学校経営計画より説明 校長)

- ・南河内中学校区4校で統一している。特に目指す学校像では、地域あつての学校として、ともに協力し、ともに育てることを目指している。
- ・キーワードは「つなぐ」人：児童・地域
ふるさと：地元愛・伝統
未来：将来につながる・未来をみつめる
- ・努力点「自ら学び合える子」
 - ・主体的に学習に取り組み学び合う態度の育成
 - ・コミュニケーション能力の向上
- 「やさしく助け合う子」・特別支援教育の充実
配慮の必要な児童が、困難なく生活・学習できるようにしたい
- 「健康で元気な子」
 - ・基本的な生活習慣の確立 挨拶・きまり

協議

(A 委員) 特別支援教育の充実は人権教育の充実の実現につながっている。全児童に対して、支援の必要な児童の割合はどのくらいか?

(校長) 2012年の全国調査では、全児童の6%であるが、現在は10%を越えるといわれている。特別支援といわれると特別支援学級を思い浮かべてし

まう方が多いが、これは学校全体として通常学級内で配慮を必要とする児童の割合で増えている状況である。子どもにとって成長できる多様な場が必要であり、本校には、通級指導教室もある。希望者が増え、他校からも来ている。

(B 委員) 努力点「自ら学び合える子」(3) は読書の推進である。どのような指導をしているのか？

(校 長) 朝に読書の時間を15分設けている。家読カードも作成し読んだ本を記入しまとめるものもある。学年の保護者が南河内図書館より毎月本を借りてきてくれている。

(B 委員) PTA の協力があるのはよいこと。自分の経験で、本を読んだ内容に影響され、挨拶の大切さを感じたことがある。子どもたちにも、読書から普段の生活に生かせると良いと感じた。

○ 承認 全員一致で承認

6 教育課程について (教育課程運営上の配慮事項より説明 教務主任)

7 地域連携教育について (地域連携推進計画より説明 教頭)

8 学校経営及び教育委員会への申し出 特になし

9 その他

・事務連絡 今年度4回実施の計画であるが、状況によって変更あり

(B 委員) 現在の職員の様子は

(教 頭) 机を離して距離を取っている。また、各教室で仕事に取り組むようにしている。

(校 長) 3密を避けて仕事をするようにしている。

行事変更として、運動会を11月14日(土)とした。薬小祭の予定であったが、運動会の開催日とした。

学校開始後は、授業を優先にしたい。その他の行事は、後半での実施・中止を検討。決断をするときなど、必要のあるときは相談させてもらう場合もある。

(教 頭) 他校も同様の状況。学習の充実を図ることが重要。今後、様々な活動等において、地域の方に支えていただくことも多くなると思う。

閉会

(